

(案)

**薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランに係る食品安全委員会行動計画 2016-2020
2020 年度進捗状況の確認について
(2021 年 6 月 11 日 薬剤耐性菌に関するワーキンググループ)**

2017 年 3 月、食品安全委員会は、科学的知見・情報の収集、国際動向への対応及び情報発信といった薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価に係る課題に対し、リスク評価の一層の推進や向上に向け、2020 年度までに実施する行動計画を策定した。

行動計画では、具体的な行動として、評価の実施、評価の実施に必要な科学的知見・情報の収集及びその他の3項目の取組を行うこととし、その進捗状況を薬剤耐性菌に関するワーキンググループにおいて毎年確認することとしている。

項目	2020 年度の取組状況等
4-1 評価の実施	
(1) 評価の着実な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の抗菌性物質について評価を行い、評価結果を農林水産省に通知。 <ul style="list-style-type: none"> ①ピコザマイシン(飼料添加物及び動物用医薬品)(2020 年 5 月) ・ 評価終了案件は、飼料添加物及び同系統の動物用医薬品で 26 物質, 11 系統のうち、24 物質, 8 系統終了(2019 年度末時点で 23 物質, 6 系統終了)、動物用医薬品の承認・再審査等で 35 件中 30 件終了(2019 年度末時点で 35 件中 30 件終了)。
(2) 再評価の適切な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017-2018 年度に実施した、コリスチン耐性菌の発生動向や <i>mcr</i> 遺伝子の保有状況等に関する研究課題の結果等を踏まえ、硫酸コリスチンについて再度評価を実施し、農林水産省に評価結果を通知。
(3) 評価手法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際機関及び諸外国/地域(欧州、米国等)の基準・指針の改正動向や、現行の評価指針策定以降に評価経験から得られた知見等を踏まえ、評価指針改訂の検討を進めることを決定した。
4-2 評価の実施に必要な科学的知見・情報の収集	
(1) 評価に必要な調査・研究事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○食品健康影響評価技術研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家畜由来薬剤耐性菌の水圏・土壌環境を介した野菜汚染の定量評価およびヒトへの伝播に関する研究(2020-2021 年度) <ul style="list-style-type: none"> - 家畜、排水、市販野菜及びヒト臨床材料由来アンピシリン耐性菌の収集、解析等を実施した。2021 年度は、引き続き分離菌のゲノム解析等を進める予定。 ・ 食肉由来耐性菌の全ゲノムシーケンスを用いた薬剤耐性特性解析に関する研究(2020-2021 年度) <ul style="list-style-type: none"> - 市販食肉及び家畜試料から耐性菌(第三世代セファロスポリン耐性、コリスチン耐性等)を分離し、細菌学的解析及びゲノム解

	析を実施した。2021 年度は、引き続き耐性菌の分離、ゲノム解析等を進める予定。
(2)ワンヘルスサーベイランスへの参画及び積極的な助言等	・「薬剤耐性ワンヘルス動向調査検討会」においてワンヘルス動向調査の方向性に関する議論に参加し、年次報告書のとりまとめに協力(2021 年 1 月公表)。
(3)国内外の関係機関との連携・協力の強化	・農林水産省動物医薬品検査所(OIE コラボレーティングセンター)が都道府県水産担当者向けに送付する資料の1つとして、食品安全委員会の薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価の仕組み及び手法に関する資料を提供(2020 年 12 月)。
4-3 その他	
(1)新たな知見・情報や課題への対応	・今後、ワンヘルスサーベイランスの進展に応じて、課題を整理し、対応を検討していく予定。
(2)薬剤耐性に関する知識・理解に関する普及啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・食品安全委員会 HP の薬剤耐性菌に関するページにおいて、食品安全委員会の取組について随時情報を更新。 (http://www.fsc.go.jp/senmon/sonota/amr_wg/amr_info.html) ・食品安全委員会 Facebook を利用し、幅広く国民への情報発信(薬剤耐性(AMR)対策推進月間、薬剤耐性菌に関する評価等について)を実施。